



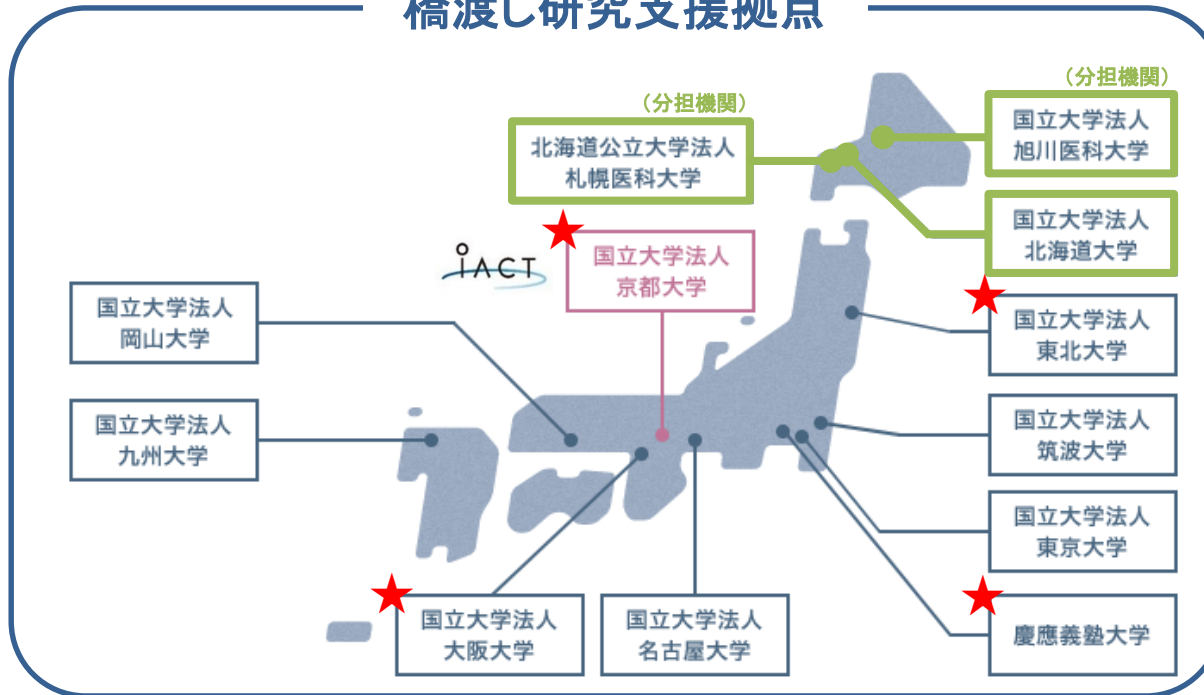
2022年度 橋渡し研究プログラム および シーズABC説明会

京都大学医学部附属病院
先端医療研究開発機構(iACT)

橋渡し研究戦略的推進プログラムと拠点

国立研究開発法人日本医療研究開発機構（AMED）が選定した全国10か所の橋渡し研究支援拠点の基盤を活用して、産学連携、拠点外の機関の研究課題を積極的に支援するために必要な人材・設備等を整備し、シーズ育成能力を強化するとともに、日本全体として橋渡し研究を推進する体制を強化・発展させ、日本発の革新的な医薬品・医療機器等をより多く持続的に創出することにより、世界一の健康長寿社会の実現に貢献する。

橋渡し研究支援拠点

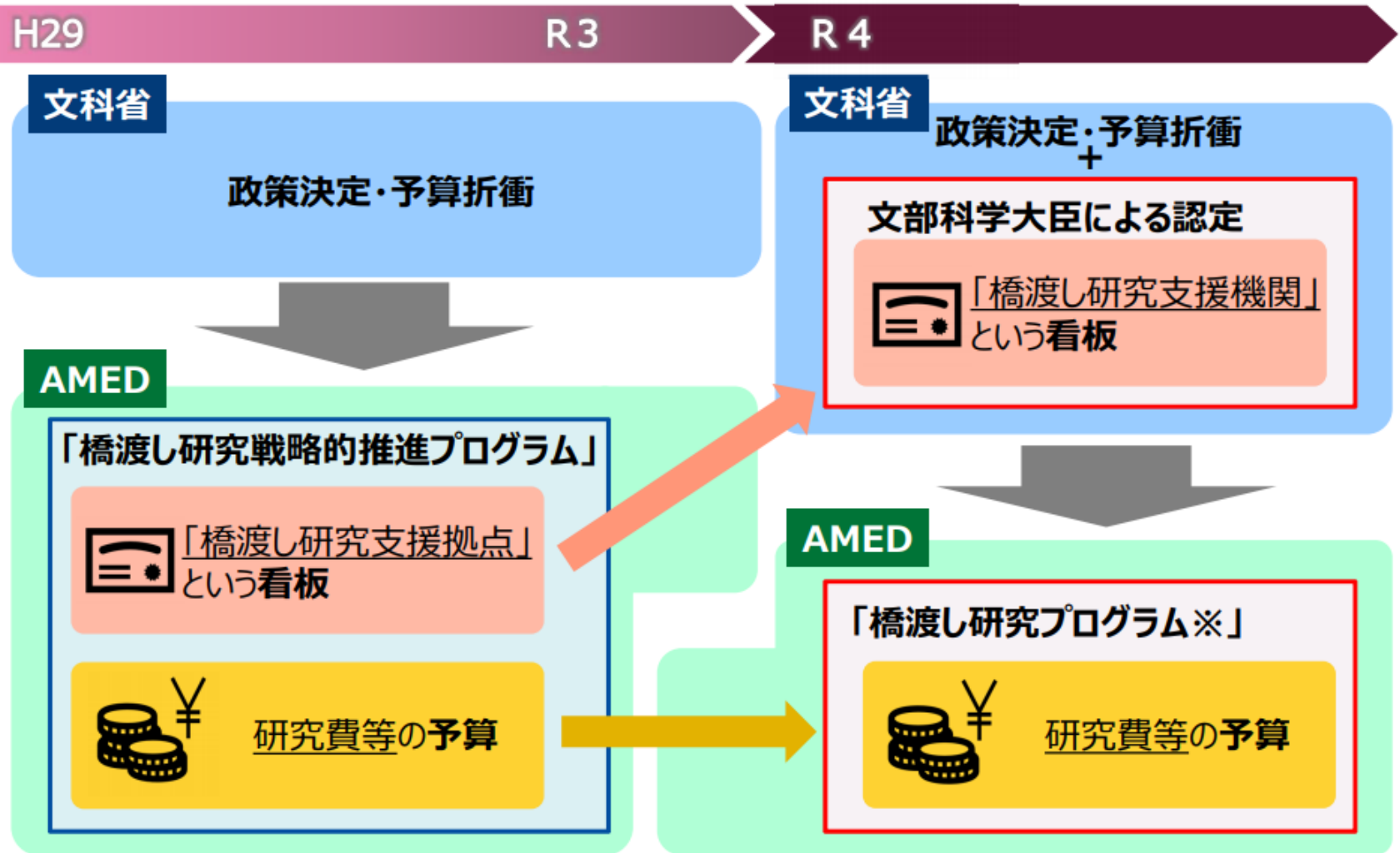


留意点

現行の橋渡し研究戦略的推進プログラムは2021年度をもって終了となり、2022年度以降は橋渡し研究支援機関の認定を受けた機関が橋渡し研究プログラムを運用する制度に変更になります。

現在、当拠点は認定申請中です。

橋渡し研究支援機関認定制度について



※複数年支援課題については、R3年度より先行実施。

令和3年度予算額：5,223百万円
(前年度予算額：4,982百万円)

背景・課題

健康・医療戦略(令和2年3月閣議決定)及び医療分野研究開発推進計画(令和2年3月健康・医療戦略推進本部決定)等に基づき、文部科学省が全国の大学等に整備してきた橋渡し研究支援拠点を活用し、シーズの発掘・移転や質の高い臨床研究・治験の実施のための体制や仕組みを整備するとともに、rTR、実証研究基盤の構築を推進し、基礎研究から臨床研究まで一貫した循環型の研究支援体制や研究基盤を整備する。

事業概要

全国の大学等の橋渡し研究支援拠点において、アカデミア等の優れた基礎研究の成果を臨床研究・実用化へ効率的に橋渡しができる体制を構築し、拠点内外のシーズの積極的支援や産学連携の強化を通じて、より多くの革新的な医薬品・医療機器等を持続的に創出する。

○拠点体制の構築

100百万円

- プロジェクトの管理や知財等の支援人材による、拠点内外のシーズに対する実用化までの一貫した支援体制を構築
- 令和3年度までの自立化を目指す

※拠点：北海道大学(分担：旭川医科大学、札幌医科大学)、東北大学、筑波大学、東京大学、慶応義塾大学、名古屋大学、京都大学、大阪大学、岡山大学、九州大学

○ネットワークの強化

210百万円

- 専門人材及びアントレプレナー等を育成

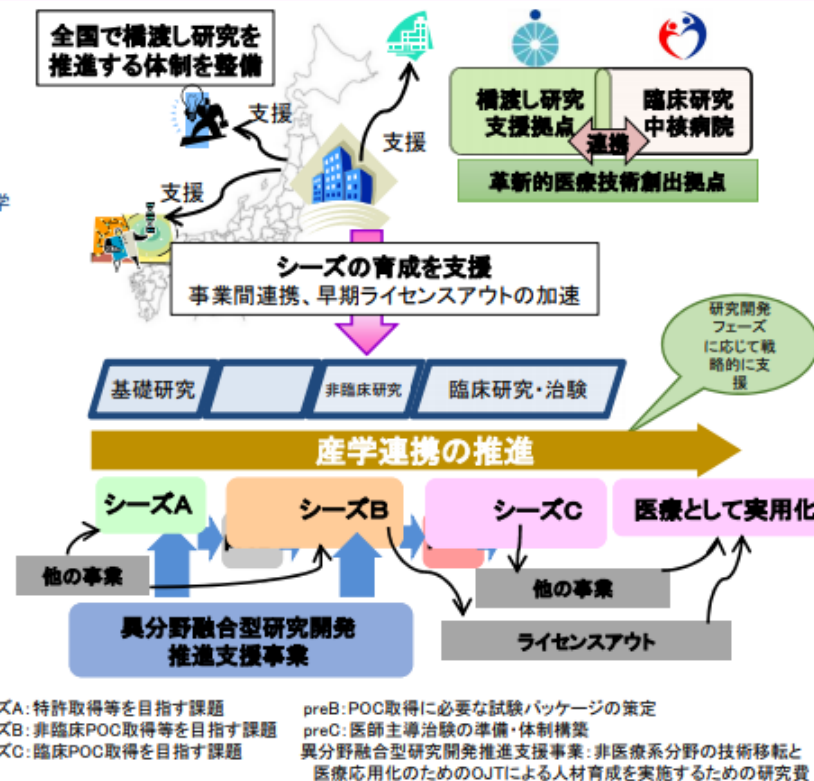
○シーズの育成

4,707百万円

- 拠点の機能・ノウハウの活用やシーズの進捗管理の徹底により、企業へのライセンスアウトや他事業への導出、実用化を促進

【令和3年度予算のポイント】

- 毎年、安定的にシーズ開発を行うため、橋渡し研究プログラムにより複数年支援課題を先行実施【新規】
- 新型コロナウイルス感染症を含む感染症研究に係るシーズを対象とした支援を実施することにより、国民の健康・医療に影響を及ぼす緊急事態に対応するための革新的な医薬品・医療機器等を創出【新規】



令和3年3月31日 文部科学省プレスリリース
「橋渡し研究支援機関認定制度の創設について」より抜粋

事業の改善の方向性

- ① 研究開発の早期から成果の実用化に向けた支援を充実させることが必要
- ② 多様化する開発ニーズへ対応させることが必要
- ③ 開発経験を有する企業の参画が成果の展開には重要
- ④ 質の高い拠点の活用が必要
- ⑤ 関連事業の役割の明確化と効果的な連携を目指すことが必要

事業プログラムの統合・整理について

- ◆ 産学連携医療イノベーション創出プログラムに関しては新規の公募はせず、本プログラムの強みである産学連携の仕組みを橋渡し研究事業に応用した形で橋渡し研究プログラムに統一する。

シーズA、B(preB)、C(preC) とは・・・

■ 開発ステージ

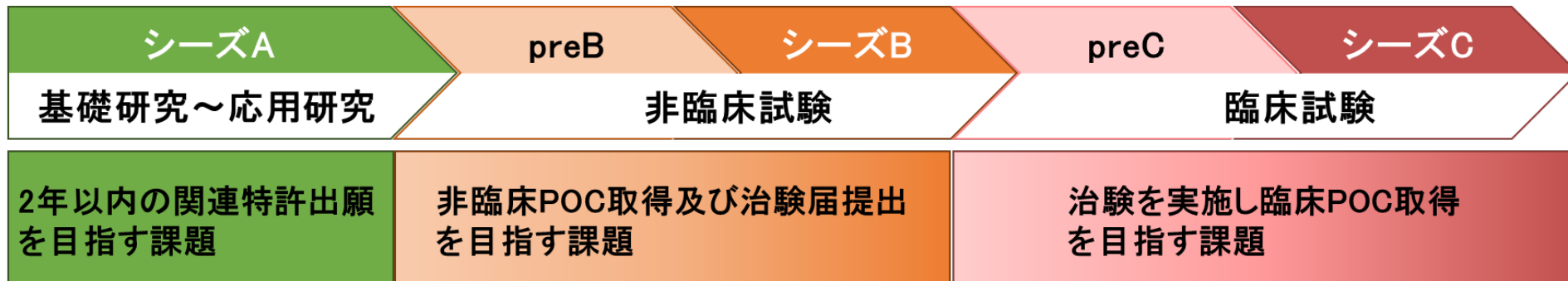
開発段階に応じて、シーズを“A”、“B(preB)”、“C(preC)”の3つの開発ステージに分けています。



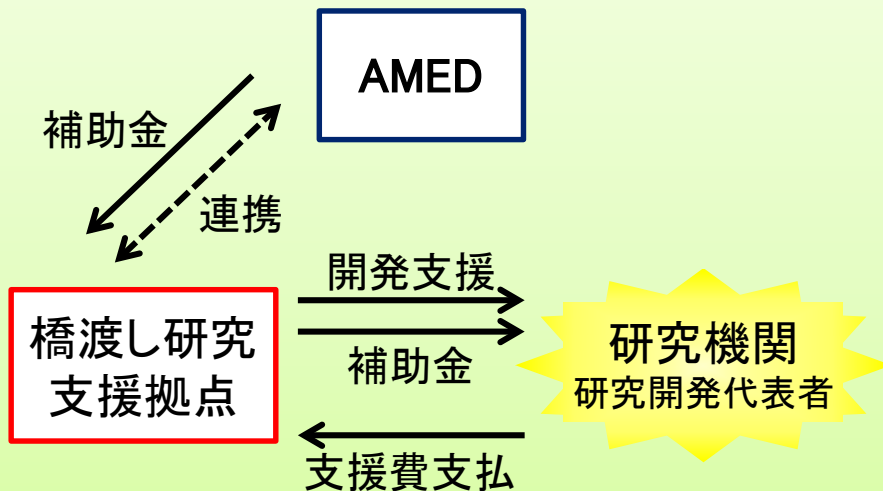
■ 対象課題

関連特許出願を目指す基礎研究開発課題(2年間) ● 将来の臨床応用を目指し、薬事承認対象となる医薬品、医療機器、再生医療等製品、体外診断薬につながる基礎研究課題 ● 2年以内の関連特許出願を目指す課題	シーズBと同様の目標であり、研究準備のための1年間の研究期間 ● 治験開始に必要な非臨床試験実施項目の確定 ● 臨床性能試験開始の準備完了（体外診断用医薬品等の場合）	関連特許出願済みであり、3年以内に下記の目標への到達を目指す研究開発課題 ● 非臨床POC取得及び治験届提出を目指す医薬品及び医療機器等の研究開発課題 ● 薬事申請用臨床データ取得を目指す体外診断用医薬品等の研究開発課題	シーズCと同様の目標であり、研究準備のための1年間の研究期間 ● 治験製品の製造や治験実施の体制整備等、医師主導治験等の準備完了	関連特許出願及び非臨床POC取得済みであり、3年以内に下記の目標への到達を目指す研究 ● 健常人又は患者を対象とし、臨床POC取得を目指す、臨床研究開発課題 ● 治験又は性能試験を行い、承認・認証を目指す医療機器等の臨床研究課題
--	---	--	---	--

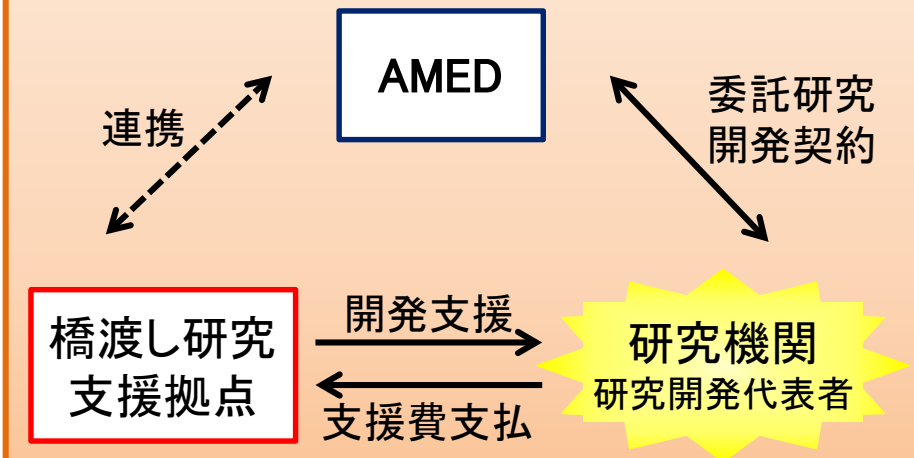
拠点の役割とプログラムの実施体制



《シーズA》



《preB、シーズB、preC、シーズC》



公募スケジュール

シーズ A

個別相談: ~9/30 (木)

課題募集: 10/1 (金) ~10/29 (金) 正午

京都大学医学部附属病院 先端医療研究開発機構

書面審査
(11月上旬~12月中旬)

内定通知 (1月上旬)

拠点内で採否決定
(1月下旬)

支援開始 (4月~)

preB / シーズB
preC / シーズC

個別相談: ~9/17 (金)

課題募集: 9/21 (火) ~10/15 (金) 正午

一次審査: 書面審査
(10月中旬~11月下旬)

二次審査: ヒアリング
(12月17日 (金))

拠点内で候補シーズを決定
(1月上旬予定)

AMEDへ応募
(2月下旬予定)

AMEDで採否を決定
支援開始 (4月~)

※ シーズABC書面審査の過程で、申請者本人に
問合せを行う場合があります。

シーズA

【シーズA】 支援対象課題

■ 支援対象となる課題

下記(1)、(2)の条件を満たす課題

- (1) 将来、薬事承認対象となる**医薬品、医療機器、再生医療等製品、体外診断薬として実用化**につながる可能性のある、臨床応用を目指した基礎研究課題
- (2) **2年以内の関連特許出願**を目指す課題

【留意事項】

現行の異分野融合型研究シーズ(医学・歯学・薬学系以外の研究者による先端技術・知識の医療応用を目指す異分野融合型の研究課題)の募集は、当該事業(AMED異分野融合型研究開発推進事業)終了のため今回は実施致しません。しかしながら、後継事業実施が検討されており、京都大学拠点での実施が確定した場合には、今回のシーズAへの応募課題からの審査・採択を行いますので、異分野融合型研究シーズを検討されている先生方も今回シーズAとして積極的にご応募ください。

【シーズA】 補助金額・採択数・補助期間

■ 補助金額・採択数・補助期間

補助金額 : 1件あたり年間 **150～300万円程度**

採択件数 : 拠点内外あわせて **20件程度**

補助期間 : 2022年4月1日～2023年3月31日

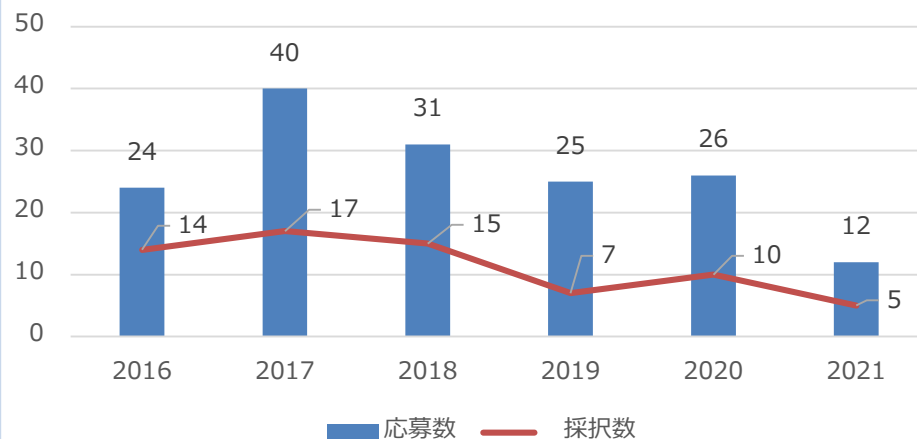
研究費の使用期限: 2023年3月31日

※ 採択件数により、補助金額は変更の可能性があります。

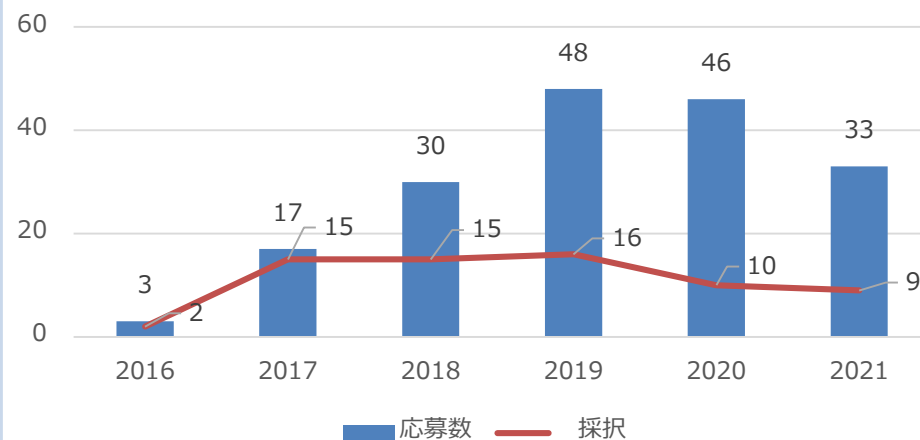
また、支援に要する費用として、補助金より一定金額を当機構に計上いたします
ことをご了承ください。

【シーズA】 応募・採択の推移

拠点内



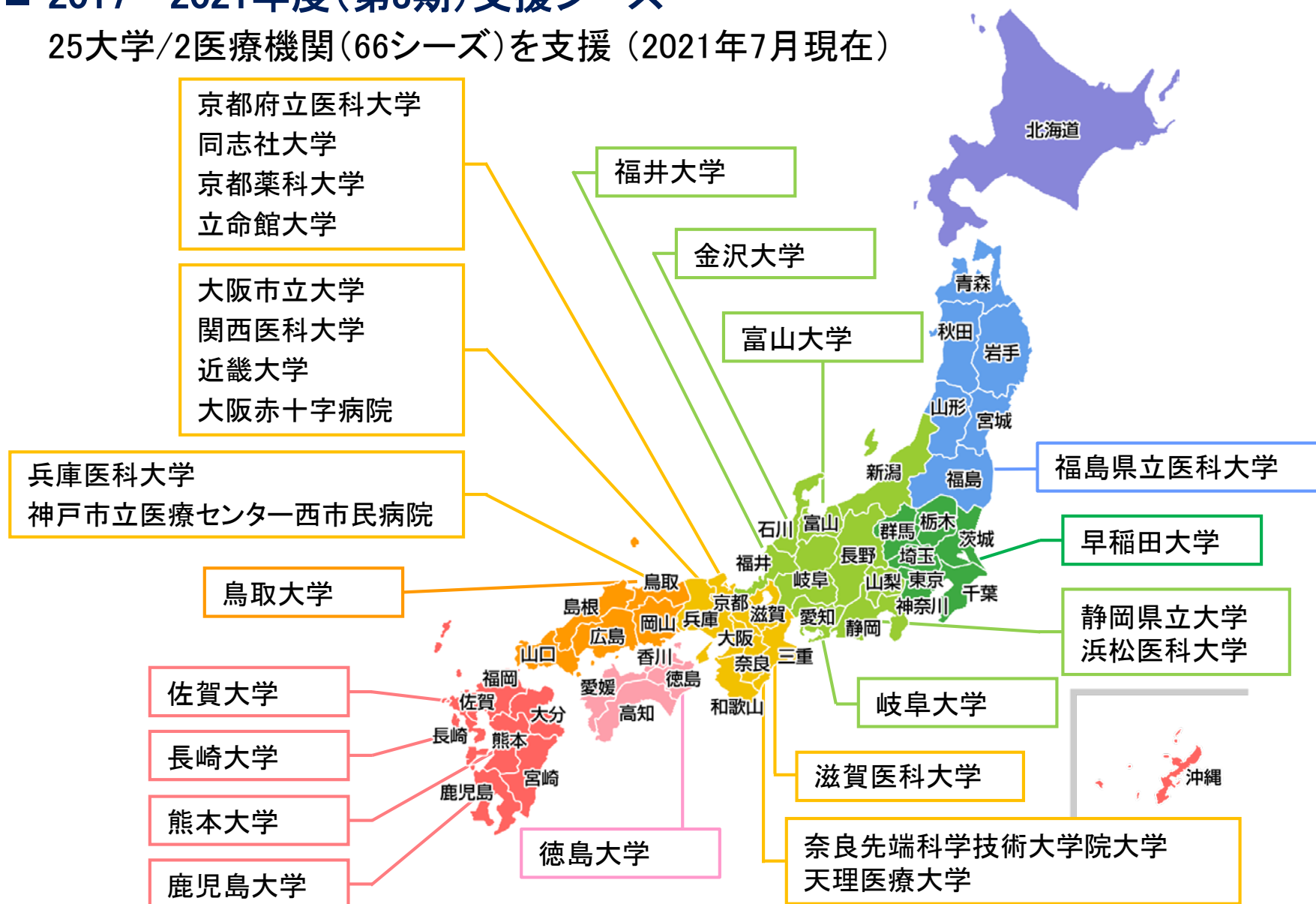
拠点外



【シーズA】 支援実績(拠点外)

■ 2017～2021年度(第3期)支援シーズ

25大学/2医療機関(66シーズ)を支援(2021年7月現在)



【シーズA】 選考スケジュール

募集案内と個別相談

- ◆ 先端医療研究開発機構HPおよびメールにて募集案内開始
- ◆ **9月10日**まで研究内容に関する個別相談(30分程度)をHP※より受け付け (**9月30日**まで実施)

※ <https://iact.kuhp.kyoto-u.ac.jp/bridging/seeds-inquiry/>

募集期間 (10/1~10/29 **正午締切厳守**)

書面審査 (11月上旬~12月中旬)

- ◆ 1課題あたりの評価者数:9名
- ◆ 知財担当者が別途新規性喪失の有無をチェック

選定評価委員会 (12月中旬)

- ◆ 書面審査結果と新規性喪失チェックの結果をもって採択案件を確定

内定通知 (1月上旬)

- ◆ **他拠点への重複申請者**、辞退者等の確認

採択通知 (1月下旬)

【シーズA】 選定基準(4項目)

評価項目	配点	評価ポイント
①研究の特色・独創性	10	・ 革新性はあるか ・ 既存の技術に比べて治療効果の優越性はあるか
②臨床的意義 (医療への貢献)	10	・ 医療現場での必要性はあるか (アンメットメディカルニーズ)
③ 開発可能性 (計画の妥当性を含む)	10	・ 基礎研究は十分になされているか ・ 製品に結び付く可能性は高いか ・ 開発ステージはどこか※ ・ 連携企業はあるか ・ 特許出願に結びつく計画か ・ 研究体制は整っているか ・ 経費計画は適切か
④ 特許性	自己発表による新規性喪失の有無	

※医薬品の場合、ターゲットバリデーションが完了し、評価系が構築されていることが望ましい。

【シーズA】 応募資格、留意点

■ 応募者資格

- シーズAの登録期間内(2022年4月1日～2024年3月31日の2年間)において、大学・研究機関等所属の研究者(常勤)であること

■ 留意点

- 過去に採択となった課題の再申請は認められません
- 同一研究課題を京都大学以外の橋渡し研究支援拠点※と重複して応募することはできません
- 別課題であっても、1人の研究開発代表者が当拠点に2件以上の応募をすることはできません

※ 橋渡し研究支援拠点

北海道臨床開発機構(北海道大学、札幌医科大学、旭川医科大学)、
東北大学、筑波大学、東京大学、慶應義塾大学、名古屋大学、
大阪大学、京都大学、岡山大学、九州大学

【シーズA】 応募資格、留意点

■ 留意点

- 他事業との重複申請は可能です。ただし、他事業がAMED事業のような実用化を目的とした事業であり、開発品および対象疾患が同じ課題については、重複受給は不可とします。重複して採択された場合はいずれかを辞退する必要があります
- シーズA申請書「4.参加者リスト」に共同研究者(企業)を記入することは可能ですが、研究協力者に研究経費を配分することはできません。また、企業を記載する場合は必ず研究協力者としてください。【※訂正あり】
- 当拠点では、橋渡し拠点認定化に際しての文部科学省からの要請に基づき、信頼性の高いデータに基づく基礎研究を重視しています。そのため、採択課題に関しては、鍵となる研究データの頑健性について、支援開始後の初回面談においてご説明いただきます

※ 2021/8/31 に下線部分を訂正いたしました。

本訂正により、シーズA申請書「4. 参加者リスト」及び「6. 必要経費」の注釈部分についても修正が入っておりますので、あわせてご確認ください。

【シーズA】 応募方法・申請書類

■ 応募方法

当機構HP(<https://iact.kuhp.kyoto-u.ac.jp/>)の【2022年度橋渡し研究プログラム_研究支援課題募集】から「**シーズA申請書・補足資料**」をダウンロードし、書類を作成ください。

作成した書類は**必ずpdfファイルに変換**したうえで、同HPの「**申請フォーム**」に添付し、ご提出ください。

■ 申請書類

(1) シーズA申請書

技術(開発物)概要、研究内容・計画、特許戦略、参加者リスト、企業連携状況、必要経費、他制度での助成等、実績

(2) シーズA申請書(補足資料)

技術(開発物)概要、開発ステージ、スケジュール、研究実施体制図

シーズB、シーズC

【preB/シーズB】 支援対象課題

■ 支援対象となる課題

< preB >

関連特許出願済みで、**治験開始に必須な非臨床試験の項目確定**等を目指す研究開発課題

< シーズB >

関連特許出願済みで、3年以内に下記の目標への到達を目指す研究開発課題

- (1) **非臨床POC取得(特に非臨床安全性試験の完了)**及び**治験届提出**を目指す医薬品及び医療機器等の研究開発課題
- (2) 薬事申請用臨床データ取得を目指す**体外診断用医薬品**等の研究開発課題

※ RS戦略相談(「対面助言」(有料)のみ、総合相談や事前面談(無料)は対象外)
非臨床安全性試験(医薬品、医療機器、再生医療)又は臨床性能試験(体外診断用医薬品)のデザインに関する対面助言実施済の場合のみシーズBに申請可能

【preC/シーズC】 支援対象課題

■ 支援対象となる課題

< preC >

関連特許出願及び非臨床POC取得済みで、**治験開始**を目指す研究開発課題

< シーズC >

関連特許出願済みで、3年以内に下記の目標への到達を目指す研究開発課題

- (1) 健常人又は患者を対象とし、**臨床POC取得**を目指す医薬品等の研究開発課題
- (2) **治験**又は**性能試験**を行い、**承認・認証**を目指す**医療機器**等の臨床研究開発課題

※ RS戦略相談(「対面助言」(有料)のみ、総合相談や事前面談(無料)は対象外)
非臨床安全性試験結果の充足性及び臨床試験デザインに関する対面助言実施済の場合のみシーズCに申請可能

【preB/B、preC/C】 委託金額、期間

■ 委託金額および期間（2021年度参考）

< preB >

委託金額： 上限1,000万円 程度(直接経費)

委託期間： 1年間

< シーズB >

委託金額： 上限5,000万円 程度(直接経費)

委託期間： 最長3年間

< preC >

委託金額： 上限1,000万円 程度(直接経費)

委託期間： 1年間

< シーズC >

委託金額： 上限8,000万円 程度(直接経費)

委託期間： 最長3年間



【シーズB、C】 採択後の推移

シーズ No.	所属・氏名	試験物	対象疾患	事業名	課題名
B-57	兵庫医科大学・呼吸器外科 長谷川 誠紀	抗PD-1効果予測	肺がん	橋渡しpreB (R3)	少量末梢血中にあるT細胞受容体多様性を標的とした、がん免疫治療の革新的な効果予測システムの開発
B-67	京都府立医科大学・医療フロンティア展開学 高木 智久	CO注腸製剤	潰瘍性大腸炎	橋渡しpreB (R3)	ガス状治療分子として毒性低減化した一酸化炭素による新規潰瘍性大腸炎治療法の開発
B-78	循環器内科 尾野 亘	miR33	筋ジストロフィー	橋渡しpreB (R3)	遺伝子タイプによらない新たな筋ジストロフィー治療薬の開発
B-80	徳島大学・先端酵素学研究所 親泊 政一	ERS201020	2型糖尿病	橋渡しpreB (R3)	膵β細胞機能回復作用を持つ新規糖尿病治療薬の開発

シーズ No.	所属・氏名	試験物	対象疾患	事業名	課題名
C-31	鹿児島大学・消化器疾患・生活習慣病学 井戸 章雄	Surv.m-CRA-1	膵がん	橋渡しpreC (R1) 橋渡しLC (R2～R3)	非切除膵癌を対象とした腫瘍溶解性ウイルスの腫瘍内局所投与療法の有効性と安全性に関する医師主導治験
C-37	リハビリテーション科 池口 良輔	三次元神経導管	末梢神経障害	橋渡しLC (R2～R3)	末梢神経損傷を対象とした三次元神経導管移植による安全性と有効性を検討する医師主導治験
C-44	遺伝子医療学 和田 敬仁	5ALA	ATR-X症候群	橋渡しpreC (R3)	ATR-X症候群に対する5-アミノレブリン酸による医師主導治験の体制確立に関する研究

【preB/シーズB】 評価項目

評価項目			評価点
①	科学的意義	・科学的に妥当性があるか ・基礎研究が十分になされているか ・研究成果の革新性・独創性	5
②	臨床的意義	・対象疾患が定まっている(医薬品、医療材料等の医療機器、再生医療) ・使用目的、または効能・効果が定まっている(医療機器) ・医療現場での必要性(アンメットメディカルニーズ)があるか ・対象疾患の希少性、難病性	5
③	開発方針の妥当性	・取得予定のPOCの定義およびその証明方法が示せている ・POCに基づく開発戦略が立てられている ・開発方針に基づく開発計画が立てられている (2～3年以内にシーズCに入る見込みがある(医薬品、再生医療))あるいは(2～3年以内の上市のため企業へ導出の見込みがある(医療機器)) ・開発の阻害要因が明確化されている。 ・PMDA相談(非臨床・品質・開発前 等)を済ませており、指摘事項への対応が練られている ・Go/No-Go基準が明確で妥当である	5
④	研究実施体制	・共同開発企業(あるいは導出先企業)がいる ・利益相反関係が適切である ・役割分担が適切である ・倫理面への配慮がなされている	5
⑤	開発ステージ	・開発対象物の最終化が出来ている(医薬品、再生医療) ・製品プロトタイプできている、あるいは上市予定品の用途がたっている(医療材料等の医療機器) ・試験物の原理検証ができている(電気・機械系の医療機器) ・作用メカニズムに基づく非臨床有効性データが妥当(医薬品、医療材料等の医療機器、再生医療) ・ヒトへの外挿性を考慮した上で、原理や性能を示す適切な非臨床データを取得している(医療機器) ・バックアッププロダクトがあるか(医薬品) ・試験物に予測された効果・性能がなかった場合の対応(仕様変更・条件変更等)について、具体的に検討してある(医療機器、再生医療)	5
⑥	総合評価		10

【preC/シーズC】 評価項目

評価項目			評価点
①	科学的意義	・科学的に妥当性があるか ・基礎研究が十分になされているか ・研究成果の革新性・独創性	5
②	臨床的意義	・対象疾患が定まっている(医薬品、医療材料等の医療機器、再生医療) ・使用目的、または効能・効果が定まっている(医療機器) ・医療現場での必要性(アンメットメディカルニーズ)があるか ・対象疾患の希少性、難病性	5
③	開発方針の妥当性	・POCに基づく開発戦略が立てられている ・開発方針(課題)が明確になっている ・PMDA相談(非臨床・品質・開発前 等)を済ませており、指摘事項への対応がなされている ・Go/No-Go基準が明確で妥当である	5
④	研究実施体制	・適切な評価項目が設定され評価方法が定まっている ・評価方法に特色・優越性がある ・試験(臨床研究・治験)の実施体制が構築され、役割分担が明確である ・患者の選定にあたり、リスクベネフィット評価がされており、安全に試験が実施できる体制が構築されている ・1年以内に試験が開始できる ・期間内に試験が完遂できる ・利益相反関係が適切である ・事業の推進が期待できる導出先が確定している	5
⑤	開発ステージ	・開発対象物が最終化されている(医薬品、再生医療) ・最終製品に近いもの、あるいは上市予定品の完成の目途がたっている(医療機器) ・試験物の製造体制および供給体制(治験薬GMP準拠またはQMS準拠)が整っている(医薬品、医療機器、再生医療) ・造腫瘍性試験、軟寒天コロニー試験、life-long試験などの結果がある(再生医療) ・薬物動態の結果がある(医薬品、再生の一部) ・GLP試験結果(毒性、安全性薬理、遺伝毒性など)がある(医薬品) ・生物学的安全性試験、電気的安全性試験、機械的安全性試験などの結果がある(医療機器) ・作用メカニズムに基づく非臨床有効性データが妥当(医薬品、医療材料等の医療機器、再生医療) ・原理や性能、特性を示す非臨床データが(医療機器)	5
⑥	総合評価		10

【preB/B、preC/C】選考スケジュール

募集案内と個別相談

- ◆ 先端医療研究開発機構HPおよびメールにて募集案内開始
- ◆ 9月10日まで研究内容に関する個別相談(30分程度)をHP※より受け付け(9月17日まで実施) ※ <https://iact.kuhp.kyoto-u.ac.jp/bridging/seeds-inquiry/>

募集期間 (9/21~10/15 正午締切厳守)

書面審査 (11月)

- ◆ 1課題あたりの評価者数: 14名(MD7名+開発経験者7名)
- ◆ 評価項目: preB/シーズB、ならびにpreC/シーズCともに6項目
- ◆ 知財担当者2次審査圏内の課題について事業との関連性をチェック
- ◆ ヒアリング対象シーズと件数を決定のため、選定委員会開催(Web会議)

ヒアリング審査 (12/17)

- ◆ AMED申請シーズ候補の順位を確定
- ◆ 単年・複数年申請も検討

AMED申請シーズ候補決定 (1月上旬)

- ◆ AMEDによる橋渡しBCシーズの申請準備

(AMED公募開始 (2022年1月予定))

AMED申請 (2月上旬)

【preB/B、preC/C】 応募資格、留意点

■ 応募者資格

- 大学・研究機関等所属の研究者(常勤)であれば応募可

■ 留意点

- 2022年度の申請数の上限、申請枠組み、委託費額等は未定
- preB、シーズB、preC、シーズCへの申請には、**関連特許の出願**が必要
- preCへの申請には、**臨床試験実施計画書**(概要で可)が必要
- シーズCへの申請には、**臨床試験実施計画書**が必要
- 採択シーズについては、**料金表に基づく拠点への支援経費の支払**が必要
- シーズBの申請を予定される場合には、**AMED公募前の拠点シーズ登録と非臨床試験項目のPMDAとの計画合意**が必須
- シーズCの申請を予定される場合には、**AMED公募前の拠点シーズ登録とPMDAとの計画合意**が必須

【 preB/B、preC/C 】 応募方法・申請書類

■ 応募方法

当機構HP(<https://iact.kuhp.kyoto-u.ac.jp/>)の【2022年度橋渡し研究プログラム_研究支援課題募集】から「シーズpreB/B提案書」あるいは「シーズpreC/C提案書」をダウンロードし、書類を作成ください。
作成した書類は必ずpdfファイルに変換したうえで、同HPの「申請フォーム」に添付し、ご提出ください。

■ 申請書類

- (1) シーズpreB/B提案書
- (2) シーズpreC/C提案書
- (3) 臨床試験実施計画書 (preC/C 申請のみ)

公募スケジュール

シーズ A

個別相談: ~9/30 (木)

課題募集: 10/1 (金) ~10/29 (金) 正午

京都大学医学部附属病院 先端医療研究開発機構

書面審査
(11月上旬~12月中旬)

内定通知 (1月上旬)

拠点内で採否決定
(1月下旬)

支援開始 (4月~)

preB / シーズB
preC / シーズC

個別相談: ~9/17 (金)

課題募集: 9/21 (火) ~10/15 (金) 正午

一次審査: 書面審査
(10月中旬~11月下旬)

二次審査: ヒアリング
(12月17日 (金))

拠点内で候補シーズを決定
(1月上旬予定)

AMEDへ応募
(2月下旬予定)

AMEDで採否を決定
支援開始 (4月~)

※ シーズABC書面審査の過程で、申請者本人に
問合せを行う場合があります。

問い合わせ先

■ お問い合わせ先

シーズA

シーズB(preB) / シーズC(preC)

京都大学医学部附属病院
先端医療研究開発機構
医療開発部

E-mail: dmd_iact@kuhp.kyoto-u.ac.jp

事務手続き

京都大学医学部附属病院
臨床研究戦略課
研究推進掛

E-mail: kucnslt@kuhp.kyoto-u.ac.jp

シーズ応募相談会

シーズ応募相談会 【シーズA】

実施期間： ～ 9/30(木) 受付は9/10(金)正午まで

対 象 者： 2022年度橋渡し【シーズA】への申請を検討中の研究者

相談内容： ・ 【シーズA】の申請要件を満たしているか
・ 提案課題の内容や開発ステージがシーズAに適しているか、等

相談時間： 30分

相談形式： Web会議

準備資料： ・ 申込受付時にお渡しする相談シートに相談内容を記載の上、
事前にご提出ください
・ 準備可能であれば、申請書(補足資料)のPPTスライドを用いて
シーズ概要をご説明ください

※他の研究事業が適している場合は、他事業をご紹介します。

シーズ応募相談会 【preB/B、preC/C】

実施期間： ～ 9/17(金) 受付は9/10(金)正午まで

対 象 者： 2022年度橋渡し【preB/シーズB、preC/シーズC】への申請を
検討中の研究者

相談内容： ・ 【preB/シーズB、preC/シーズC】の申請要件を満たしているか
・ 拠点へのシーズ登録の希望の有無、等

相談時間： 30分

相談形式： Web会議

相談人数： 数人程度まで可(企業担当者同席可)

シーズ応募相談会 【preB/B、preC/C】

- 準備資料：
- 研究目的、開発する内容、試験物、既存治療との比較、アンメットメディカルニーズ、現状の課題(大学で解決すべき科学的な課題)、これまでの研究成果、今後の実施計画、ロードマップ、期待される効果 など
 - その他にも、特許出願状況、非臨床試験(または臨床試験)の実施状況、規制当局対応、研究開発体制、連携企業 など

上記の内容が含まれるようなPPTあるいは
ハンドアウト資料を事前にご準備ください。

※既に登録済みのpreB/シーズB、preC/シーズCについては、まずはプロジェクトマネージャーにご相談ください。

※他の研究事業が適している場合は、他事業をご紹介します。

WEB申込方法

iACTのHPよりお申込みください

⇒ <https://iact.kuhp.kyoto-u.ac.jp/bridging/seeds-inquiry/>

ホーム > 橋渡し事業 > シーズに関する相談

シーズに関する相談

- » 橋渡し研究事業について
- » 異分野融合型研究開発推進支援事業
- » シーズ支援
- » 他機関シーズ支援
- シーズに関する相談
- » 研究支援課題募集
- » シーズ一覧

シーズに関する相談

シーズA・B・Cなどのシーズに関する開発・申請のご相談は、常時受け付けております。
『シーズ相談フォーム』より、お気軽にお問い合わせください。

■ 相談事例 ■

① 開発戦略に関する相談

- ・PMDAへ相談に行くための準備について知りたい
- ・非臨床データとして何が必要か相談したい
- ・医療機器の該当性、クラス分類や一般的名称の妥当性について相談したい

② マッチング、ニーズ検証に関する相談

- ・開発シーズの連携先（企業・臨床医）を探したい
- ・開発シーズに対する臨床ニーズがあるか確かめたい

③ 橋渡し研究事業、シーズに関する相談

- ・橋渡し研究事業について詳しく知りたい
- ・シーズAへの申請が可能か相談したい
- ・シーズB申請のために必要なデータを知りたい
- ・橋渡し研究事業への応募が最適か（他事業はないか）知りたい

実施中

2022年度 シーズ応募相談会

- 【受付期間】 ～ 2021年9月10日（金） 正午
- 【実施期間】 シーズA：～ 2021年9月30日（木）
シーズB（preB）/ シーズC（preC）：～ 2021年9月17日（金）
- 【対象者】 2022年度橋渡し研究プログラムへの申請を検討中の研究者
※すでに登録済みのシーズB（preB）・C（preC）については、まずは担当プロジェクトマネージャーにご相談ください。
- 【相談内容】 ・申請要件を満たしているか
・提案課題の内容や開発ステージが適しているか、等
※他の研究事業が適していると思われる場合は、他事業をご紹介します。
- 【相談時間】 30分
- 【相談形式】 Web会議
- 【申込方法】 『シーズ相談フォーム』よりお申し込みください。
※相談内容記載欄に「2022年度 シーズ応募相談希望」と明記ください。
すでにシーズ登録済みの場合は、あわせてシーズ番号をご記入ください。

シーズ相談フォーム

こちらのフォームよりご相談内容をご入力ください。

*のついた項目は必ず入力ください

氏名*	姓	名
氏名(フリガナ)*	セイ	メイ
所属機関・診療科・研究室*	例：京都大学医学部附属病院 先端医療研究開発機構	
役職名*	例：教授	
電話番号* (半角数字)	電話番号	/ 内線 or PHS番号 (ハイフン不要、電話番号もしくは内線・PHS番号いずれか入力)
メールアドレス*		
メールアドレス* (確認用)		
研究対象* (複数回答可)	☐ 医薬品 ☐ 医療機器 ☐ 体外診断薬 ☐ 再生医療等製品 ☐ 未定	
連携企業*	☐ 有 ☐ 無	
相談内容* ※シーズをお選びください	☐ シーズA（基礎研究） ☐ preB（非臨床試験） ☐ シーズB（非臨床試験） ☐ preC（臨床試験） ☐ シーズC（臨床試験） ※ 異分野融合型シーズに関する相談 ⇒ 【シーズA】にチェック	

・「シーズ応募相談希望」と記載ください
・シーズB、Cに登録済みの場合は、
シーズ番号をご記載ください